



奈留高校 学校便り

令和6年

# 鍛錬坂

1月26日発行

第210号

奈留高校 E島 E明日 E仲間

## 校長室から

校長 釘島正智

令和6年は災害と事故で幕を開け、手放して喜ぶことができないスタートになりました。能登半島地震と羽田空港で起こったJALと海上保安庁の航空機衝突事故のことです。

雲仙普賢岳が噴火したのは平成3年。尊い命が失われ、長期化する土石流や火砕流も甚大な被害をもたらしました。私は翌年に島原高校へ異動しましたが、そこには仮設住宅暮らしの生徒もいましたし、雨のたびに土石流に怯え、道路が遮断されると、生徒はフェリーで寸断された道路を迂回して登下校することもありました。



平成7年の阪神・淡路大震災は、報道でしか様子を見ていませんが、自然災害という点では普賢岳の噴火と同じで、被害には心が痛みました。他のクラスには進路先に影響があった生徒もいたようです。

平成23年の東日本大震災時は、クラスの生徒が国立大学の後期試験で関東地方に出かけていたため、安否が確認できるまでは不安な時を過ごしました。平成25年には、防災学習、ボランティア活動、地元観光業への応援などを意図して修学旅行で岩手県を訪れました。車窓から見る風景に言葉を失いましたし、復旧のお手伝いをしたホテルも、本当に営業を再開できるのだろうかと思う状態でした。地元の熱烈な感謝・歓迎の言葉と悲惨な状況の両方を今でもよく覚えています。

平成30年に研修会で熊本を訪れた時には、地震から2年以上経過しているにも関わらず、歩道のあちこちが大きく隆起していたり、熊本城で土のうが積み上げられていて、復興・復旧への遠い道のりを感じました。

私個人の体験と多少なりとも関連して記憶に強く残っているもの以外にも、地震、津波、台風、豪雨、噴火などの災害は、枚挙に暇がありません。

そして、世界中に災害や戦争、貧困などで苦しむ人たちがいます。個人的にその全てを支援したり、多額の寄付をすることはできませんし、ましてや現地に行って活動することも今の私にはできません。

しかし、深く関わることができないとしても、無知・無関心であってはなりません。自分自身は、自分との縁に応じて関わり方を決めるようにしています。例えば、小さい頃から最も馴染みのある「赤い羽根」は少額でも続けて寄付しよう、東京のユニセフハウスを訪れた後に届いた募金の依頼には期間を決めて振り込みをしよう、(これは個人ではありませんが)本校に講演に来てくださった方が運営するケニア貧困地区の学校には、講演を聴いた現3年生が卒業するまで生徒会から寄付してもらおう、などです。今回の能登半島地震のような大きな災害があれば、それは別枠です。

生徒の皆さんが「完全な自分事にはできなくても、完全な他人事にもできないよね」と思ってくれるのが私の期待です。そして、できることをする。今回の震災に対しては、生徒会を中心に募金活動を行い、一人あたりに換算すると多めの額の寄付金が集まりました。奈留高生を改めて誇らしく思いました。

先日、テレビから「忘れないで欲しい」という被害者の方のコメントが聞こえてきました。その時点での「忘れないでほしい」に一瞬違和感をおぼえましたが、それは報道の数日後には「他人事」にされてしまうことへの恐れから出たものだろうと気づきました。

「知って欲しい。忘れないで欲しい。」それは私が岩手で何度も耳にした言葉です。その言葉の中にある切実さを感じ取ることが「他人事にしない」の核心ではないでしょうか。

ホームページは  
こちらのQRコードから  
ご覧いただけます ⇒



★Instagramはじめました★

学校での生徒の様子などを投稿しています。

フォローをお願いします! ⇒



〒853-2201 五島市奈留町浦1246-2 ☎ 0959-64-2210 FAX 0959-64-3087

奈留高校ホームページ <http://www2.news.ed.jp/section/naru-h/>

## 行事予定

## 2月 February

1日(木) 前期・離島留学特別選抜検査	13日(火) 金曜の授業
3日(土) 対外実力(2年/～4日)	消費生活支援ヤング講座(3年)
全商商業経済検定	15日(木) 学年末考査(1・2年/～20日)
4日(日) 開校記念日	20日(火) 年金セミナー(3年)
5日(月) NAPER週間(～9日)	PTA理事会
6日(火) 内定者セミナー	21日(水) 窓ふきデー
8日(木) 小中高生徒打ち合わせ会	28日(水) 卒業式会場設営
学年末考査時間割発表(1・2年)	29日(木) 卒業式予行・同窓会入会式
前期・離島留学特別選抜合格発表	合格者体験発表会

## 人生の達人セミナー



1月17日(水)、柿森 茜氏(Office Akane代表 キャリアコンサルタント)をお招きし、「人生の達人セミナー」を実施しました。ご自身も奈留出身で、高校を卒業してから現在までの経験を、高校生向けに楽しく話して下さいました。生徒たちは、ワークシート使って自分を振り返る活動をしました。また、実際の企業研修でも行われている「チームビルディング」という活動も体験しました。ストローでできるだけ高い塔を作るというものでしたが、1番高い塔の完成を目指して、1人1人が協力し、役割分担をしながら楽しく参加していました。生徒の感想文を一部紹介します。



『私は不得意な部分を人に出すことはあまりしないようにと思っていましたが、不得意を相手に伝えて周りに頼る勇気が大切である、弱みは魅力である、ということを知り、自分自身の得意・不得意を言語化し、自分を理解してキャリアを決めていきたいと思いました。』

『強み=元々備わっているもの、能力=努力して身に付けるもの、ということを知りました。私は、長所を話すときには能力を話したいので、長所になる何かを努力したいです。』

## 高校入試期間中の注意

今年度の前期・離島留学特別選抜を2月1日(木)に実施し、前日の午後から当日にかけて校内への立ち入りなどが制限されます。それに伴って、生徒は自宅学習となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 三者面談について

昨年12月末に実施いたしました三者面談におきましては、多くの保護者にご来校いただき、ありがとうございました。学校と家庭で連絡を密にし、協力しながら生徒育成を図っていかれたらと思っています。今後ともよろしくご協力いたします。

# 大学入学共通テスト

1月13日(土)～14日(日)に行われた大学入学共通テストを、3年生4名が受験しました。前日には図書館で激励会が行われ、釘島校長から激励の言葉をいただいた後、生徒代表の窄中君が「これまで支えてくれた家族や仲間、先生方への感謝の思いを持って、ベストを尽くします。」という力強い決意表明を述べました。前日の金曜日に奈留島を出発する際には、高校の正門やターミナルで、受験する生徒の出発を他の生徒、職員みんなで見送りました。波も穏やかで、無事に宿舎に到着した後は、受験会場である県立五島高校の下見を行いました。

本番は両日とも天候に恵まれ、全員が体調を崩すこともなく、万全の状況で試験に臨むことができました。結果は、実力が発揮できた人、思うような点数が取れなかった人等、それぞれだと思いますが、本番に向けて日々積み重ねてきた努力や、他校の生徒に囲まれ、緊張を感じながら受験した経験は、きっとこれからの人生の糧になると思います。

共通テストは終わりましたが、この後も進路実現に向けてやるべきことが控えています。共通テストを受験しなかった生徒は学年末考査に向けて、国公立大志願者は二次試験に向けて、それぞれが全力を尽くしていきます。保護者、ホストファミリーの皆さま、これまで受験生を支えていただき、本当にありがとうございます。学校生活もあとわずかとなりましたが、卒業に向けて学年一丸となって頑張っていきますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



校長からの激励



生徒決意表明(窄中くん)



生徒見送り(本校正門にて)



受験会場下見

# 五島吹奏楽祭

12月24日(日)福江文化会館で行われた「五島吹奏楽祭」に出演してきました。現体制になって初めての島外での演奏だったので、初めは不安と緊張でいっぱいだったようです。3曲演奏した中の1曲は、生徒も大好きな曲である「銀河鉄道999」で、いつもとは違う大きなホールで演奏する姿は自信に満ち溢れていました。普段から自分たちで意見を出し合い、練習内容や合奏のしかたなどを工夫してきたことで、本番では6人が一つになって音楽を奏でることができ、また部としてもひとつ成長できたと思います。生徒も振り返りの中で「この6人だから、良い演奏ができた」「もっと練習して上手になりたい」など、前向きな感想が多くありました。当日、応援に来ていただいた保護者の皆さま、卒業生、地域の方々、学校関係者のみなさん、本当にありがとうございました。



# 能登半島地震募金

1月1日に発生した能登半島地震の被災地支援のために、本校の生徒会が中心となり1月16日～18日で募金活動を行いました。生徒や保護者の皆さま、先生方の協力のおかげで、

**31,192円**

の義援金を集めることができ、奈留支所に被災地への送金をお願いしてきました。被災地の一日でも早い復興を、心からお祈りしています。



# 奈留高校職員ペンリレー

うたの あや

**歌野 礼 先生**

本校1年目 ・ 理科(生物) ・ 吹奏楽部顧問

今から20余年前、会社を辞め、南米でラテンな人々に揉まれて過ごしました。そこで出会った彼らの生き方は「明日できることは今日やらない!」

日本の学校生活では、計画通りに実行するよう叩き込まれます。私もその例にもれず、計画通りに事が運ばなければ結果はゼロだと思い込んでいました。でも、今日しかできないことを積み重ねていけば少しずつゴールに近づくし、今しかできないことを後回しにしなければ、意外と、人生で本当に大切なものを取りこぼさないのかもしれない。

いまは「あの時やっておけばよかった」よりも「やってよかった」と思うことのほうが多い気がします。30年前の地味でガリ勉女子高生だった自分にも今は感謝。高校生の皆さんにも、過去の自分に感謝する日が来るといいな、と思っています。Suerte!

